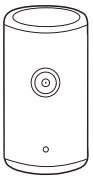
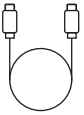
パッケージ内容



1

2



3

4

5

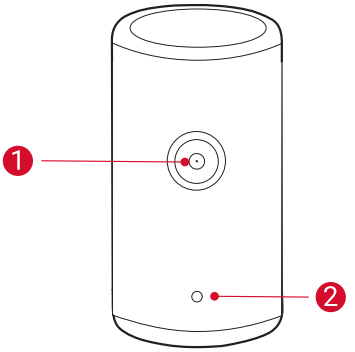
6

1. Nebula Capsule 3 Laser GTV
2. AC アダプタ
3. 充電ケーブル
4. リモコン
5. 単 4 形乾電池 (x2)
6. クイックスタートガイド

外観

1. プロジェクター

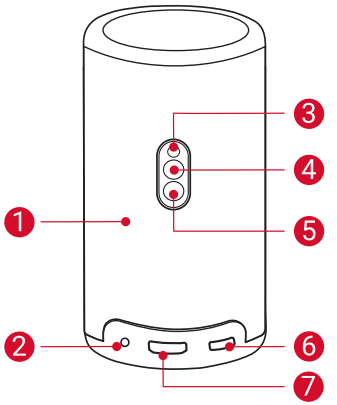
正面図



1 レンズ

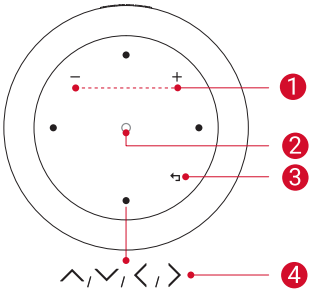
2 オートフォーカスおよび
自動台形補正用センサー

背面図



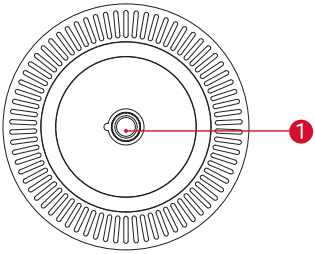
1. スピーカー
2. AUX 出力ソケット
   - AUX ケーブル (別売り) を使って、ヘッドホンやスピーカーなどの外部オーディオ出力機器を接続します。
3. 赤外線レシーバー
4. モード切り替えボタン
   - このボタンを押すと、Bluetooth スピーカーモードとプロジェクターモードが切り替わります。
5. 電源ボタン
   - 2 秒間長押しすると、電源のオン / オフ / スタンバイが切り替わります。
   - 1 回押すと、プロジェクターが起動します。プロジェクターモードの時に押すと、スタンバイモードに入ります。
6. USB-C ポート
   - 付属の AC アダプタと充電ケーブルで電源に接続します。
   - USB ドライブに接続します。
7. HDMI ポート
   - HDMI 出力経由で再生機器に接続します。

上面図



1. 音量アップ / ダウンボタン
2. 決定ボタン
3. 戻るボタン
4. ナビゲーションボタン

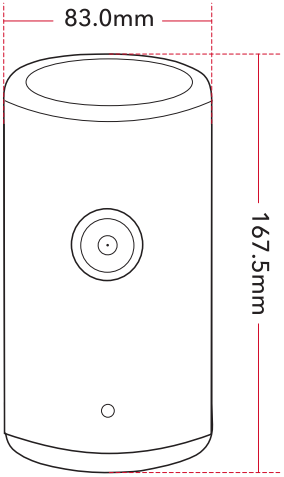
底面図



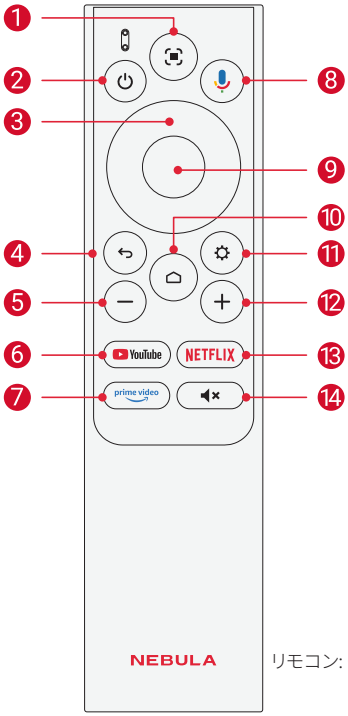
1. 1/4" 三脚用ソケット

サイズ

167.5 (H) × 83.0 (D) mm



2. リモコン



リモコン: Google TV RCU
モデル: D0442X

1	オートフォーカス	8	Google アシスタントの起動
2	電源のオン / オフ / スタンバイの切り替え	9	決定 / 一時停止 / 再開
3	ナビゲーション	10	ホーム画面
4	戻るボタン	11	その他オプションの表示
5	音量ダウン	12	音量アップ
6	YouTube を開く	13	Netflix を開く
7	Prime Video を開く	14	音声のミュート / ミュート解除

3. LED インジケーター

ボタン	LED インジケーター	説明
	青色に点灯	電源がオン
	消灯	電源がオフ
	オレンジ色に点灯	スタンバイモード
	緑色に点灯	満充電
	赤色で点滅	バッテリー残量が低下
	青色で点滅	ペアリング準備完了 / ペアリング中 / 接続切断 (Bluetooth スピーカーモード)
	青色に点灯	Bluetooth で接続済み (Bluetooth スピーカーモード)

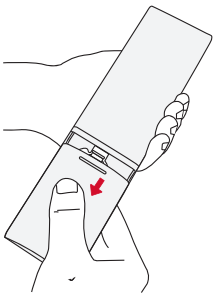
はじめに

1. リモコンのセットアップ

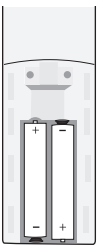
① 背面の電池カバーを開けます。

② 単 4 形乾電池 2 本をプラス (+) とマイナス (-) が合うように入れ、カバーを閉じます。

③ 初めて使用する場合は、画面の指示に従ってリモコンとプロジェクターをペアリングします。



❶

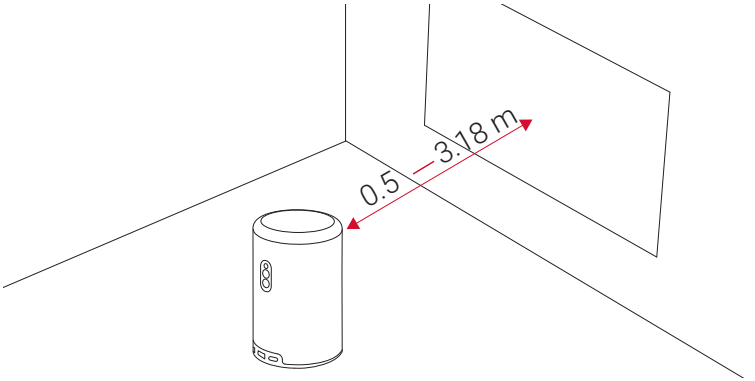


❷

リモコンとプロジェクターの間の距離は 20m を超えないようにしてください。

2. プロジェクターの設置

プロジェクターを、投影面の前の安定した平らな場所に置きます。より綺麗に投影するには、白く平らな壁もしくはスクリーンに投影してください。

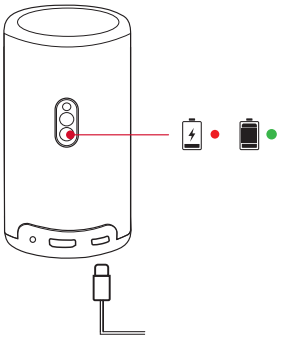


- 本製品を投影面に向けて傾ける必要はありません。オートフォーカスと自動台形補正によって、投影画像を補正できます。
- 本製品を三脚 (別売り) に取り付けることもできます。
- 投影画像の大きさは、本製品と投影面との距離で決まります。より鮮明な映像を映すには、プロジェクターを投影面から 0.5 ～ 3.18 m の距離に設置し、40 ～ 120 インチの画面サイズに調整します。

スクリーンのサイズ	投影距離
40 インチ	1.06 m
50 インチ	1.33 m
60 インチ	1.60 m
70 インチ	1.86 m
80 インチ	2.13 m
90 インチ	2.39 m
100 インチ	2.65 m
110 インチ	2.92 m
120 インチ	3.18 m

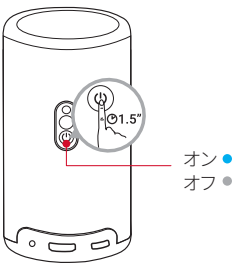
3. プロジェクターの充電

初めてご使用になる前に、付属の AC アダプタを使って満充電してください。



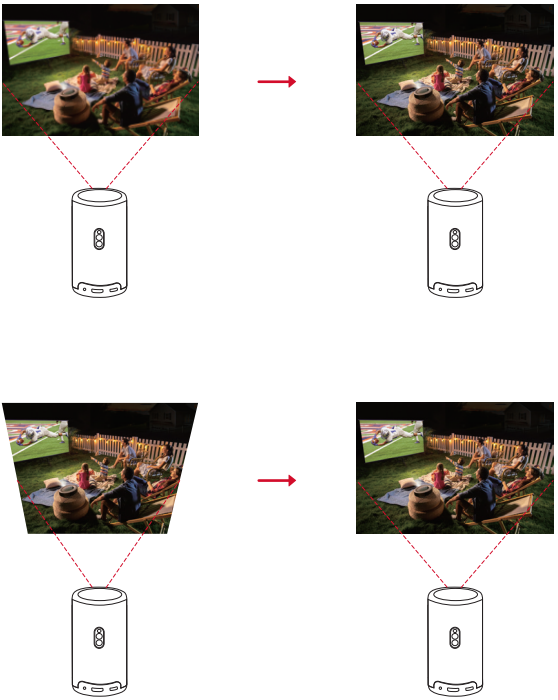
4. 電源のオン / オフ

プロジェクターの電源ボタンを 2 秒間長押しすると、電源のオン / オフ / スタンバイが切り替わります。



- リモコンの電源ボタンを 2 秒間長押ししても、電源をオフにすることができます。
- 電源がオンの状態でプロジェクターまたはリモコンの電源ボタンを押すと、スタンバイモードに切り替わります。
- HMDI モードでは、10 分間ボタンの操作がされないか、信号が検出されないと、本製品はスタンバイモードに切り替わります。
- スタンバイモードが 30 分間続き、プロジェクターが電源に接続されていない場合、本製品の電源は自動的にオフになります。

5. オートフォーカスと自動台形補正



オートフォーカスと自動台形補正を有効にするには、プロジェクターを少し動かすか、リモコンの を押します。

6. セットアップ

初めてお使いになる時は、画面の指示に従って基本設定を行ってください。必要に応じて、プロジェクターの「設定」メニューで設定をご変更いただけます。

- リモコンとプロジェクターをペアリングする
- 言語を選択する
- Android スマートフォンでテレビを設定する (オプション)
- Wi-Fi に接続する
- Google アカウントでログインする

Nebula Connect アプリ

本製品を操作する上で、Nebula Connect アプリをスマートフォンにダウンロードいただくことをお勧めします。

Download on the App Store

GET IT ON Google Play

① App Store (iOS 機器の場合) または Google Play (Android 機器の場合) から **Nebula Connect** アプリをダウンロードします。

② お使いのスマートフォンの Bluetooth をオンにします。

③ Nebula Connect アプリを開き、接続する機器として **[Capsule 3 Laser]** を選択します。

④ 画面の指示に従って、接続のセットアップを完了します。

詳細設定

本製品を初めて起動する際は、各種セットアップを完了させてください。

1. Wi-Fi ネットワーク

本製品は、ワイヤレス (Wi-Fi) 接続を使用してインターネットに接続できます。

① ホーム画面で、⚙ > **[ネットワークとインターネット]** を選択し、⊡ を押します。

② 画面の指示に従って、ネットワーク接続を完了させます。

2. プロジェクター

① ホーム画面で、⚙ > [**プロジェクター**] を選択し、⊡を押します。

[**画像補正**]	**自動台形補正の設定** [**リモコンによる自動台形補正**]: リモコンで、自動台形補正を有効または無効にします。 [**起動時に自動台形補正を実行**]: プロジェクターの電源を入れた時、自動で台形補正を行います。 [**移動後の自動台形補正**]: プロジェクターを動かした時、自動で台形補正を行います。 [**手動台形補正を実行**]: 手動での台形補正を有効にします。自動台形補正がオフのときにのみ使用できます。 [**自動スクリーンフィット**]: 自動スクリーンフィットを有効または無効にします。 [**自動障害物回避**]: 自動障害物回避を有効または無効にします。 [**手動台形補正を実行**]: 手動で台形補正を行います。 [**ワンクリック画像補正**]: 投影画像の大きさが投影面に合わせて自動的に調整されます。 [**ズーム**]: 投影画像を 50% から 100% の間でズームインまたはズームアウトします。
[**フォーカス設定**]	[**起動時にオートフォーカスを実行**]: プロジェクターの電源がオンになった時にフォーカスを自動で調整します。 [**移動後のオートフォーカス**]: プロジェクターを移動させた時に、フォーカスを自動で調整します。 [**手動フォーカス補正**]: 手動によるフォーカスの補正を有効にします。

[**詳細設定**]	[**投影モード**]: プロジェクターの設置方法を選択します。 • [**自動**]: プロジェクターが反転しているかどうかを自動的に検出します。これらのオプションを自動的に切り替えます。 • [**前面**]: 本製品を投影面の前に置きます。 • [**前面天井**]: 本製品を投影面の前に天井から逆さまに吊り下げます。画像が 180°回転します。 • [**背面**]: 本製品を投影面の後ろに置きます。 • [**背面天井**]: 本製品を投影面の後ろに天井から逆さまに吊り下げます。画像が 180°回転し、左右が反転します。
	[**動作設定**]: センサーがオートフォーカスと自動台形補正を起動するための感度を設定します。
	[**プロジェクターの較正**]: 台形補正が正しく機能しない場合は、プロジェクターを再調整します。
	[**スマートソリューション**]: 問題が検出された時、通知を受信します。 • [**投影角度アラート**]: 問題が検出された時、通知を受信します。 • [**手動補正に関するポップアップ**]: グリッドレス自動台形補正後、ポップアップを表示します。 • [**Nebula スマート通知**]: プロジェクターのステータスが変更された時、通知を受信します。

[**ディスプレイと音声**]	**画像** [**輝度**]: 環境に応じて明るさを調整します。 [**標準**]: 暖色と寒色のバランスをとって自然な色を保ちます。 [**エコ**]: 輝度を下げてバッテリーを節約します。 [**自動**]: 電源接続時に輝度を最大に上げ、電源が切断された時にエコモードに切り替わります。
	[**画像モード**]: 本製品にはプリセットされた画像モードがいくつか用意されているため、環境や入力ソースに合わせていずれかのモードを選択できます。 • [**標準**]: 暖色と寒色のバランスをとって自然な色を保ちます。 • [**ビビッド**]: ストリーミング配信に最適な、鮮やかな彩度になります。 • [**スポーツ**]: スポーツ観戦に最適な、より速い反応速度になります。 • [**映画**]: 映画鑑賞に最適な色を再現します。 • [**ゲーム**]: ビデオゲームをプレイしやすいように輝度を高め、応答時間を短くします。 • [**会議**]: 輝度は明るくなりますが、色の再現度が低くなる可能性があります。

	[**詳細設定**]: 詳細設定をカスタマイズして、画質を向上させます。 • [**色温度**]: 色温度を切り替えます。 • [**赤のゲイン**]: 赤のゲインの値を手動で設定します。 • [**緑のゲイン**]: 緑のゲインの値を手動で設定します。 • [**青のゲイン**]: 青のゲインの値を手動で設定します。 • [**DNR**]: 画面のデジタルノイズを低減します。 • [**MPEG NR**]: MPEG 圧縮ビデオを再生する時の画像ノイズを除去します。 • [**DI フィルムモード**]: 毎秒 24 フレームでエンコードされた高精細画像を作成します。 • [**壁の色**]: 画面の色を手動で設定します。 • [**ガンマ**]: ガンマ設定を選択します (ダーク、ミディアム、ブライト) • [**色空間**]: 適切なカラースペースを選択します。 • [**カラーチューナー**]: 色を手動で調整します。 • [**MEMC**]: 元のフレームの間に追加のフレームを挿入して、スムーズな動きを実現します。 • [**11 ポイント ホワイト バランス補正**]: ホワイトバランスを手動で設定します。

	音声 [**ムービー**]: 映画観賞用にサラウンドサウンドのリスニング体験を作り出します。 [**音楽**]: 音楽を聴くために高音域を強調します。 [**アウトドア**]: 屋外でオーディオ / ビデオを再生するために音量を上げます。 [**カスタム**]: バランス、低音域、高音域などのオーディオ設定を手動で定義します。 [**Bluetooth スピーカーモードをオンにする**]: プロジェクターを Bluetooth スピーカーとして使用できるようにします。 [**スピーカー遅延**]: サウンドを映像と同期させるために、操作ごとにサウンドの遅延を 10 ミリ秒ずつ調整します。 [**エキスパート設定**]: 詳細設定をカスタマイズして、音質を向上させます。 • eARC: 音声出力をする必要がある場合は、eARC ポートに接続してください。
	音声出力 [**自動**]**: 最適なオーディオ出力モードを自動的に選択します。** [**バイパス**]: 接続された機器がデコードできるように、処理せずにデジタルオーディオ信号を通過させます。 [**PCM**]: PCM 形式でオーディオを出力します。 [**Dolby Digital Plus**]: ドルビーデジタルプラス形式でオーディオを出力します。 [**Dolby Digital**]: ドルビーデジタルフォーマットでオーディオを出力します。 [**デジタル出力の遅延**]: サウンドと映像を同期させるために、デジタルオーディオ出力の遅延を調整します。

3. アプリ

① ホーム画面で、⚙ > [アプリ] を選択し、⊡を押します。

② 選択したアプリに対しては、現在のバージョンの確認、アプリの起動、強制停止、使用されているストレージの確認、データまたはキャッシュの消去、アプリのアンインストール、通知と使用許可の有効化または無効化を行うことができます。

4. システム

ホーム画面で、⚙ を選択し、⊡を押します。

[ユーザー補助]: 字幕やテキスト読み上げなど、ユーザー補助に関する設定を変更できます。

[ユーザー補助]	キャプション設定の変更や、アクセスビリティサービスの有効化を行います。
[デバイス情報]	製品情報の確認やシステムの更新、本製品のリセット、本製品の名前変更を行います。
[日付と時刻]	日付と時刻の自動設定を有効 / 無効にします。日付と時刻を手動で設定するか、タイム ゾーンを選択するか、時刻形式を設定します。
[言語]	画面に表示する言語を選択します。
[キーボード]	キーボードを確認および管理します。
[ストレージ]	デバイスのストレージを確認します。
[背景モード]	Google TV で写真、天気、時間を表示するように設定します。
[電源と省エネ設定]	自動スリープ設定を変更したり、現在のディスプレイをオフにしたり、信号が利用できない時の自動電源オフの時間を設定したりします。
[キャスト]	選択すると、Wi-Fi に接続されているすべての Android 機器に通知が表示され、それらの機器が本製品へのメディアキャストを操作できるようになります。
[システム音]	操作音のオン / オフを切り替えます。
[再起動]	システムを再起動します。

5. その他

ホーム画面で ⚙ を選択し、その他の設定オプションを表示します。

[**アカウントとログイン**]	ログインして Google TV を最大限に活用します。
[**プライバシー**]	プライバシー設定をカスタマイズします。
[**リモコンとアクセサリー**]	ペアリング対象のアクセサリを検索します。
[**ヘルプとフィードバック**]	プロジェクターに関するフィードバックや、その他の意見を送信します。

本製品の使用方法

1. アプリの選択

ワイヤレスネットワークに接続されると、オンラインサービスへのアクセス、動画や音楽などのコンテンツの再生、およびインターネットの利用が可能になります。GooglePlay から追加のアプリをダウンロードできます。

① ⌂を押してホーム画面にアクセスします。

② [**アプリ**] > [**アプリやゲームを検索**] を選択します。

2. 音声アシスタント

設定後、リモコンの Google アシスタントボタンを使って音声で操作することができます。

3. ワイヤレス画面ミラーリング

iOS、macOS、Android、または Windows 機器から本製品にムービー、ゲーム、ミュージック、スクリーンをワイヤレスでキャストできます。

プロジェクターとお客様の機器が同じワイヤレスネットワークに接続されている必要があります。ネットワークは、Wi-Fi ネットワークでもスマートフォンのホットスポットでも構いません。

3.1 アプリ内コンテンツのキャスト

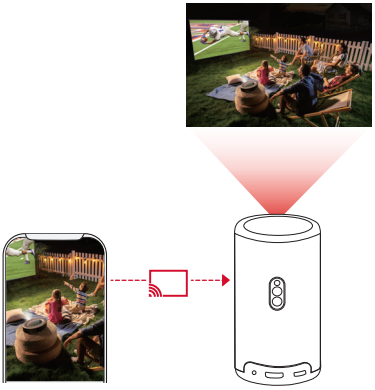
YouTube や Prime Video など、Chromecast に対応するアプリからコンテンツをキャストできます。

① デバイスとプロジェクターを同じワイヤレスネットワークに接続します。

② デバイスでストリーミングアプリを開きます。

③ ビデオを再生し、ビデオ画面でキャストアイコンをタップします。

④ **Capsule 3 Laser** を選択して接続します。プロジェクターは、デバイスのビデオ画面をミラーリングします。



著作権の制限により、特定のコンテンツは本製品でキャストできません。同じアプリを本製品にインストールしてそのアプリからコンテンツを再生することはできます。

3.2 デバイスの画面のキャスト

デバイスの画面全体をプロジェクターにキャストできます。まずは、Nebula Capsule 3 Laser とお使いのデバイスが同じ無線ネットワークに接続されていることを確認します。

- **iOS 搭載機器の場合：**

① お使いのデバイスのコントロールセンターを開き、をタップします。

② デバイス一覧から「**Nebula Capsule 3 Laser**」をタップします。

- **Android 搭載機器の場合：**

① Google Home アプリを開き、「**Nebula Capsule 3 Laser**」を選択します。

② ページ上で をタップします。

- **アプリからミラーリングする場合：**

① 動画ストリーミングアプリから Airplay アイコンまたは アイコンをタップします。

② デバイス一覧から「**Nebula Capsule 3 Laser**」を選択します。

- **Nebula Cast アプリを使用する場合：**

① デバイスとプロジェクターを同じ無線ネットワークに接続してください。

② プロジェクターに Nebula Cast アプリをインストールしてください。

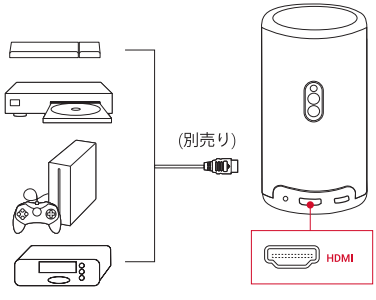
③ Nebula Cast アプリを開き、画面の指示に従って操作を完了します。

4. HDMI 再生機器から再生する

本製品は、TV ボックス、TV スティック、DVD プレーヤー、セットトップボックス (STB)、ゲーム機など、さまざまな HDMI 再生機器に接続することができます。

① HDMI ケーブル (別売り) を使用して、本製品を HDMI 再生機器に接続します。

② リモコンの設定ボタン（歯車アイコン）を押して [**ダッシュボード**] に入り、[**入力**] > [**HDMI**] を選択します。



初めて HDMI 再生機器に接続すると、本製品は HDMI 再生を自動的に開始します。

5. USB ドライブから再生する

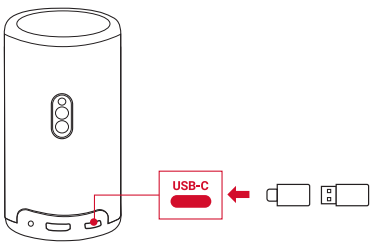
本製品では、USB 2.0 ドライブに保存されている音楽、ビデオ、画像を再生 / 投影することができます。また、ドライブに保存されているアプリをインストールすることもできます。

① Google Play から **Nebula ファイルマネージャー**アプリをダウンロードします。

② USB-A ドライブ (USB コンバーター付き) または USB-C ドライブを USB ポートに挿入します。

③ USB ドライブから、再生する音楽、ビデオ、または写真を選択し、[·]を押します。

④ [·]を押すと再生が停止します。



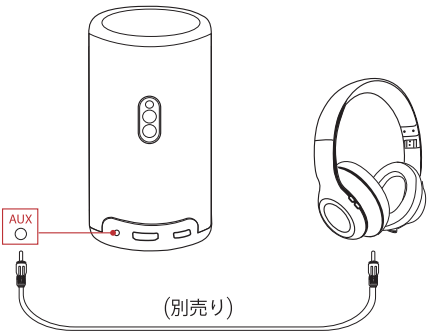
6. 外部オーディオ機器で再生する

本製品は、ヘッドホンやスピーカーなど、外部のオーディオ機器に接続することもできます。外部のオーディオ機器に接続すると、内蔵スピーカーシステムは無効になります。

① 3.5 mm オーディオケーブルまたはアダプター (別売り) を使用して、ヘッドホンまたは外部スピーカーを接続します。

② ケーブルのもう一方の端を本製品の AUX ポートに接続します。

- ヘッドホンまたは外部スピーカーからオーディオが聞こえます。



ヘッドホンを接続して装着する前に、耳を痛めないように音量を下げてください。

7. Bluetooth スピーカーモード

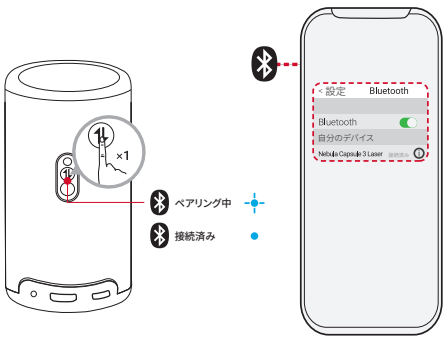
本製品は、Bluetooth スピーカーとしてご使用いただくことができます。

① Bluetooth スピーカーモードに切り替えるには、次の 2 つのオプションがあります。

A: プロジェクターの ⏻ を押します。

B: ホーム画面で、⚙ を選択し、**[設定] > [ディスプレイと音声] > [音声] > [Bluetooth スピーカーモードをオンにする]** を選択します。

② お使いのスマートフォンの Bluetooth を有効にし、「**Nebula Capsule 3 Laser**」 を選択して接続します。



Bluetooth スピーカーモードを終了するには、プロジェクターの ⏻ を押すか、リモコンの ⮌ を 2 秒間長押しします。

システムの更新

本製品の最新の機能をご利用いただくには、必要に応じてファームウェアの更新を行い、システムを最新の状態にしていただくことをお勧めします。

システムをアップデートするには、**[設定] > [システム] > [デバイス情報] > [システム アップデート]** に移動します。

製品の仕様

仕様は予告なく変更されることがあります。

入力	5V ⎓ 3A または 9V ⎓ 3A または 12V ⎓ 3A または 15V ⎓ 3A または 20V ⎓ 2.25A
消費電力	45W 未満
スタンバイ時消費電力	0.5W 未満
解像度	1920 × 1080
対応解像度	480p (60 Hz)、576p (50 Hz)、720p (30 Hz)、720p (50 Hz)、720p (60 Hz)、1080p (24 Hz)、1080p (30 Hz)、1080p (50 Hz)、1080p (60 Hz)、4K2K (23,976 Hz)、4K2K (25 Hz)、4K2K (30 Hz)、4K2K (50 Hz)、4K2K (60 Hz)、4096 (23,976 Hz)、4096 (25 Hz)、4096 (30 Hz)、4096 (50 Hz)、4096 (60 Hz)
コントラスト比	500:1
アスペクト比	16:9
スクリーンのサイズ	40 ～ 120 インチ
スローレシオ	1.2:1
投影距離	1.06 ～ 3.18 m

光源	レーザー
フォーカス	自動
台形補正	自動
スピーカー出力	8W
騒音レベル	<28dB
Wi-Fi	WiFi5 802.11a/b/g/n/ac、デュアル周波数 2.4/5GHz
通信方式	Bluetooth 5.1
Bluetooth 動作範囲	25 m
USB メモリのファイルシステム	FAT、FAT32
動作温度	0 ～ 35°C
リモコン電池	単 4 形乾電池 (x2)

トラブルシューティング

① 電源が入らない場合

- プロジェクターの充電が切れている可能性があります。 プロジェクターを 15 ～ 30 分間充電し、電源ボタンのライトが点灯するかどうかを確認してください。

② 充電できない場合

- 充電には、付属の AC アダプタと充電ケーブルを使用します。
- 付属の AC アダプタと充電ケーブルで充電できない場合は、別のアダプタ (45W 以上) と USB-C 充電ケーブルをお試しください。

③ Wi-Fi ネットワークに接続できない場合

- プロジェクターを Wi-Fi ルーターから 5 m 以内に配置し、再接続

します。

- ルーターを 2.4 GHz または 5 GHz に設定して、再試行してください。
- プロジェクターとルーターを再起動して、再試行してください。
- 別の Wi-Fi ネットワークまたはスマートフォンのホットスポットをお試しください。

④ 画像がぼやけている場合

- プロジェクターを少し動かすか、リモコンの⊡を押して、オートフォーカスを起動します。
- フォーカスを手動で調整するには、**[設定] > [プロジェクター] > [フォーカス設定] > [手動フォーカス補正]** に移動し、リモコンの〈および〉を使用します。
- 必要に応じて、投影角度や投映方向、プロジェクターの高さを調整してください。

⑤ 画像が歪む場合

- 次の手順に従って、ファームウェアを最新バージョンに更新してください **([設定] > [システム] > [デバイス情報] > [システムアップデート])**。
- 次の手順に従って、手動で台形補正を行ってください **([設定] > [プロジェクター] > [画像補正] > [手動台形補正を実行])**。
- 必要に応じて、プロジェクターを左右に動かすか、設置角度を調整してください。

⑥「HDMI 信号なし」と表示される場合

- 別の HDMI ケーブルを使用してください。
- プロジェクターを別の HDMI 再生機器に接続し、問題が解決するか確認してください。
- HDMI 再生機器を HDMI ケーブルでテレビに接続し、機器やケーブルに不具合がないか確認してください。
- HDMI 再生機器の出力解像度 / 周波数をプロジェクターと同じになるように調整してください。

⑦ Wi-Fi なしで動画を再生する方法

- 動画を FAT32 形式で USB メモリにダウンロードします。 次の手順については、**「USB メモリから再生する」**を参照してください。

商標

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、Anker Innovations Limited. は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。

HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI licensing LLC の商標または登録商標です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、Dolby Audio、およびダブル D 記号は、Dolby Laboratories Licensing Corporation の商標です。